

# 平成31年度 教職員 学校評価

A: と思う B: どちらかといえばと思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

(%)

番号	内 容	平成31年度				平成30年度				
		A	B	C	D	A	B	C	D	E
問1	幼児児童生徒が主体的に学習に取り組むように、実態や学習内容に応じて教材や指導方法の工夫・改善を行っている。	39	61	0	0	39	50	1	1	6
問2	体験活動は事前の指導計画や事後学習を充実させ、その後の幼児児童生徒の生活や学習にいかされている。	32	61	7	0	36	51	3	3	5
問3	人や社会とかがわる活動を通じて、思いやりの心や責任感、自立心を養っている。	27	69	4	0	41	53	0	1	3
問4	教職員としての専門性と実践的指導力を向上させるために積極的に研修を行っている。	28	52	16	4	31	62	0	5	1
問5	社会自立を目指す教育を幼児児童生徒の発達段階に応じて行っている。	33	61	4	2	41	48	5	1	3
問6	視覚障害者に適した運動を選択し、基礎体力の向上と運動習慣の定着を図っている。	29	64	7	0	39	55	1	1	1
問7	計画的に交流及び共同学習を推進している。	27	64	7	2	36	56	3	1	1
問8	施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。	16	67	13	4	25	62	3	6	1
問9	災害に対する正しい知識と技能を身につけ、適切に判断して行動できる力を養っている。	25	60	9	6	32	58	1	3	3
問10	様々な危機（災害・いじめ・不審者等）を想定した対策を進めている。	26	62	6	6	34	51	5	3	5
問11	学校ホームページ、学校ブログ、「希望の花」、学部(学年)通信等は、保護者への情報提供に役立ち、広報としても機能している。	36	62	2	0	43	50	3	1	1
問12	個別面談やカウンセリングなどの機会が設けられ、相談機能が充実している。	35	61	2	2	36	53	3	1	5
問13	個別の指導計画は、個々の学習目標や指導の手立て、指導の経過や評価をわかりやすく記述し、保護者に説明している。	39	52	9	0	43	51	1	1	1
問14	個別の教育支援計画は、本人のニーズや保護者の願いを聞き取り、共通理解をして作成している。	51	45	4	0	44	50	1	1	1
問15	ICT機器（パソコンやタブレット等）の活用を目指し、段階的な指導を行っている。	26	65	7	2	29	60	5	1	3
問16	福祉、労働、大学等の関係機関と連携を図り、進路に関する情報提供や指導助言を行っている。	30	61	9	0	25	56	12	1	3
問17	教育・医療・福祉等と連携を図り、地域の視覚障害児者への支援相談を行っている。	34	64	2	0	39	50	1	3	5

→昨年より良い

→昨年より10%以上悪い

教職員のコメント

問2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選と言いながら体験活動が減ってきている。</li> <li>・重複生についてはクラスによってそれぞれだと思うから。</li> <li>・事前・事後学習の時間確保が難しい。</li> <li>・体験的な活動がどんどん減らされている。</li> </ul>
問3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも人や社会とかかわる機会が少ない。</li> </ul>
問4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚の分野についてはある程度充実しているが知的の分野は手薄いと思うから。</li> <li>・点字や歩行指導の自主研修の参加者が少ない。</li> <li>・実践的な研修が少ない。授業実践や点字の基本については学部単位で研修があると良い。</li> <li>・専門性を高める研修が少なく、各自の努力に頼っている。</li> <li>・研修に行けるように補欠をあてたり、準備をしたりするのが大変。</li> </ul>
問5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の支援についてどこからは見守るといった具体的な相談が生徒ごとにできると良い。</li> <li>・自分でできる力をもっている子でも自分で確認して選択させることができている。</li> </ul>
問6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単と重の内容に違いがある。個に合った内容でもっと身体をつかう内容が必要。</li> </ul>
問7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高の交流（重）は回数が複数あってもよいのでは？</li> <li>・いきあたりばったり</li> <li>・小と中や中と高の交流や共同学習を考えてほしい。</li> <li>・交流先の予定とこちらの予定があわないため、実施しにくい。</li> </ul>
問8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルメットがない教室があります。</li> <li>・網戸がついていない窓が多く全開できない。</li> <li>・生徒の動線はよいが他で雑多な所が多々ある。</li> <li>・スイングの落下やランニングマシンでのケガが起こっている。</li> </ul>
問9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガレキが散乱した時など具体的な指導ができていない。</li> <li>・生徒の発達段階に応じた指導ができていないと思えない。</li> <li>・緊急対応時のマニュアルについて学校としての対応（学部単位ではなく）を考え作成すべき。</li> <li>・職員へのアナウンス等あいまいでわかりにくい部分が多い。</li> </ul>
問10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理に対する対策をほとんど聞いたことがない。</li> <li>・訓練の想定が甘く、危機意識が全体的に低く感じる。</li> <li>・想定が不十分なことが多い。</li> </ul>
問11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新回数が少ない。HPやブログなど</li> </ul>
問12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身があまり相談できていない。</li> </ul>
問13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者間の連携にまでは活かされていない。</li> <li>・教師によって書き方にムラがある。</li> <li>・内容や書き方に関して、教師間のバラツキが大きく統一されていない。</li> </ul>
問14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画と支援計画の役割分担を明確にした方が良いと感じる。</li> </ul>
問15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不十分</li> <li>・重複クラスでiPad等を活用しているのをほとんど見たことがない。</li> <li>・分からない（どのように実施されているか）</li> </ul>
問16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼・小の保護者は、特に進路について身近に感じていない。</li> <li>・進学先、就職先は少ないと思うので開拓が必要（今年は頑張ってくださいているが）</li> </ul>